

② 令和7年度の取り組み

過去5年間の新潟新興交通の交通事故発生状況を分析すると、車両後退時の安全不確認によるものが約45%、車両感覚の誤認によるものが約31%を占め、やはりバス車体の大きさによるリスクが如実に表れています。そのため後退事故防止対策として当社所有の全車両にバックモニターを装備したものの今度は、バックモニターを過信してしまうヒューマンエラーが発生する状況にありました。

そこで令和7年度は、

- ・バック時の降車確認の徹底
- ・バスの死角や車両間隔の再確認

を重点対策としたうえで、出庫点呼時には、「新潟新興交通『安全計画』」に基づいて毎月の安全運行のための実践事項をドライバーに呼称させ具体的な行動指針を示し意識改革を図って交通事故防止に努めたいと考えます。

その上で、前年度達成できなかった6件以下の事故軽減目標を令和7年度の目標に再度定め、目標達成に最善努力してまいります。

